

基本特性

強い意志力が発揮され、それに準じた積極的な行動力を持っている点が、あなたの現在の基本的な特性です。自分が欲しいものを獲得することや、大切なものを守り抜くことに強い価値や意義を感じ、障害や困難を克服してでも自らが目指すものは実現しようと努力を惜しまず行動します。自分の意志の実現の為に、多少の摩擦や対立は、意に介さないほどの精神的な強さとたくましさを持っています。一方で、自分の価値観や意見に固執しがちなかたくなさも今のあなたの傾向として見受けられます。自分がうまくいっていると実感できる時には、友好的な面が優勢ですが、一旦、否定的な見方が優勢となると、あなたの強情で強引な面が優勢となる、極端な傾向も今のあなたの特徴です。強い自分でいたいという意志があり、振舞いにもその意図が反映されますが、内面的にはナイーブで繊細でデリケートな面を持つ、相反するものを外面と内面に持つ心理が、現在のあなたの基本的な特徴と言えるでしょう。

優れている面

行動力があり、又、自分の意志に沿って、未知のことや、困難な事柄にも挑戦する勇氣ある思考が優勢です。自分のためのみならず正義感や信念を持って正しさを主張する強さがあり、情熱的で精力的な人柄があなたの特徴です。普段のあなたは、ざっくばらんで単刀直入、また、誠実さを実感出来る振る舞いを常に取っているため、人々から信頼されます。ユーモアも備えているあなたは、硬軟両面の特性に優れ暖かくて厳しいリーダー的存在として周りから注目される存在です。責任感が強く、やるべき事を確実にまた、迅速に行うことが出来る、スピーディーさも優れている点の一つです。決断力があり、説得力も持っているため、人々を力強くひきつける魅力があり、印象に残るタイプの人柄です。

注意すべき面

自我意識が強く、利己的な面を持ち、人と協調する事と人に妥協する事の区別をうまくつけることが出来ません。一旦自分が思い込んだり、気持ちを決めてしまうと、他者の意見や忠告を容易には受け入れようとしない頑固な面を持っています。特に、一旦対立的な感情を相手に抱くと、攻撃的な面が表に現れ、摩擦や対立を気にしない強硬で高圧的な行動傾向を示す場合があります。場合によっては、徹底して相手にダメージを与えようとしています。あらゆる事柄について、「白・黒」をはっきりさせたがる性質があり、それが行き過ぎると、寛容さや、忍耐強さが失われ、性急で強引な人として受取られがちな面があります。物事を、批判的または、否定的に捉える思考が優先することがしばしばあり、そのような思考状態が原因で自分の精神状態をストレス状態にしたり、不安定な状況にしがちです。

思考傾向分析

意識の深いところで、自分自身の事をまわりの人からより大切にしてもらいたいと言う願望を強く抱いており、その意識は、逆に、そう思われなかった時に、あなたの状況を不安にさせる要素となりがちです。従って、あなたは、いつも、周りの人が自分のことをどの様に思っているかに強い関心を示しつつも、もし、自分の期待通りでなかった時の事を考え人々と心理的に一定の距離を置く隔離傾向があり、漠然とした、孤独感や孤立感を抱きがちなる心理要因となっています。また、物事をじっくりと納得するまで考える、と言った、時間をかけて思考することを好まず、まず、行動を起し、動きながら、物事を前進させることを好みます。人との協調や調和と言った事は、あまり得意ではありません。結果として、一人で考え、一人でやる、独立独歩のライフスタイルを形成する傾向があります。

行動傾向分析

行動力にあふれ、何事においてもスピーディーに行い、処理します。活動的な時間を好みます。一方で、マイペースを重要視する傾向があり、他者や周りからコントロールされたり、干渉されることを嫌う傾向があるのも、あなたの行動傾向の現在の特徴です。自分らしくありたいと言う思いと、主体的に時間を過ごしたいと言う思いは、時には、我がままで、利己的な行動傾向を生み出す場合もあります。責任感や、物事を達成する意識の強さは、力強く意欲的な行動傾向へとつながり、周りからは、パワフルで積極的な人柄として認知されることが多いようです。また、自分自身もそのようなライフスタイルを好ましいと思います。

更なる自己活用のための提言

あなたは、潜在的に、周りに対して常に身構えて過ごしている傾向があるようです。それは、正しくそして、厳密でありたいと言う意識が強すぎた時に、極端に、周りからの批判や抵抗を気にしすぎるために起こすものです。但し、これは常にあなたの潜在的なストレスの要因となりがちですので、適切に、それらのストレスを解消するよう心がけましょう。そのために、行動的で活動的なあなたの特性を活かし、オンとオフの切り替えを明確にし、オフの時間を使って、運動やスポーツといった体を動かしたり、声を出したりすることを積極的に行うと良いでしょう。常に、自分の心をオンの状態にするだけでなく、時に、オフの自分を楽しむ事が大切です。また周りの人々をより寛容な眼で見、場合によっては少々のミスや間違いを許す態度や行為も、結果としてあなたの精神状態のバランスを保つために有効だと思われます。